

student Voice

薬学研究科 応用医療薬学分野

伊丹恒生脳神経外科病院 勤務

現在のお仕事内容は？

中小病院の薬剤部長としての管理業務に加え、院内の医療安全管理者としての業務を担当しつつ、病棟薬剤業務および薬剤管理指導業務も担当しています。入院患者の持参薬確認、処方提案、副作用モニタリング、多職種カンファレンスへの参加などを通じて、安全で適切な薬物療法の実践に取り組んでいます。また、兵庫県病院薬剤師会の常任理事として、研修会やイベントの企画を行っています。



曾和 鮎美さん

2026年度入学者

本学大学院進学のかっかけは？

日々の薬剤師業務の中で、患者さんへの介入効果を客観的に示すことの重要性を感じるようになりました。そこで、統計解析や研究手法を体系的に学び、臨床現場で得られるデータから新たな知見を創出できる力を身につけたいと考え、社会人大学院へ進学しました。特に、高齢患者のポリファーマシーやフレイル、ADL改善など、日々の業務で直面する課題について研究的視点から検討したいと考えています。研究を通じて薬剤師業務の価値を可視化し、より質の高い薬物療法の実践につなげていきたいと思っています。

大学院ではどのようなことを
学んでいますか？

私の研究テーマは、回復期リハビリテーション病棟における薬剤師の介入が、患者さんのフレイルや日常生活動作（ADL）の改善にどのような影響を与えるかを検討することです。高齢患者では多剤併用（ポリファーマシー）が課題となることが多く、薬剤師による処方の見直しや薬物療法の適正化が患者さんの機能回復にどのように寄与するのかを明らかにしたいと考えています。研究成果を通じて、より質の高い薬物療法の提供と高齢者医療の発展に貢献することを目指しています。

大学院での学びを通して
ご自身に何か変化はありましたか？

大学院に進学したことで、業務をこなすだけでなく、その背景にある課題や改善点を考えるようになりました。研究を通じて、多角的に物事を捉える力や、限られた時間の中で計画的に取り組む力も身についたと感じています。また、多職種や異なる立場の方々と議論する機会が増えたことで、自分の考えを整理して伝える力も向上したと感じています。臨床現場で得られた経験を研究につなげ、研究で得られた知見を再び臨床に還元する、という視点を持てるようになりました。

大学院での学びで、お仕事で役に立つ内容（知識、スキルなど）はありますか？

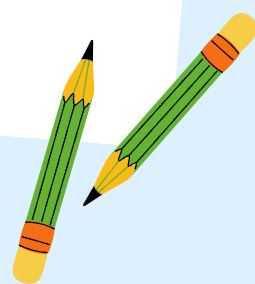
大学院で学んだ知識の中で、現在の業務に最も役立っているのは、エビデンスに基づいて物事を評価する力です。日常業務で生じる疑問について、「なぜそうなるのか」「データで示せるのか」という研究的な視点で考えるようになり、より質の高い薬学的管理や処方提案につながっていると感じています。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日	家事													家事・育児					自宅学習
火曜日	家事													家事・育児					自宅学習
水曜日	家事													家事・育児		外部講師			自宅学習
木曜日	家事													家事・育児					自宅学習
金曜日	家事													家事・育児					自宅学習
土曜日		家事		講義													家事・育児		睡眠
日曜日		家事																自宅学習	睡眠

働きながら学ぶ中で大変なこと、工夫していることはありますか？

最も苦労しているのは時間の確保です。平日は病院業務が中心となるため、研究や課題は夜間、休日を利用して進めています。特に学会発表や論文作成の時期は仕事との両立が大きな課題になりますが、日常の疑問点やアイデアを楽しく積み重ねて、自身のモチベーションを維持しています。プライベートでは子を持つ親としての役割もありますが、時間をうまく活用したり、家族に支えてもらいながら充実した毎日を送っています。



修了後の目標や将来の展望はありますか？

大学院修了後は、臨床と研究の両面から医療に貢献できる薬剤師になりたいです。日々の業務の中で生じる課題を研究的視点で検証し、その成果を実践につなげることで、患者さんにより良い医療を提供したいと思っています。また、後進の薬剤師や学生に対しても、自らの経験を通じて研究の重要性や臨床研究の面白さを伝えられる存在になりたいと考えています。

進学を検討している方へメッセージをお願いします！

私自身、仕事・家庭と両立しながら大学院で学んでいます。時間の確保は簡単ではありませんが、限られた時間だからこそ目的意識を持って学ぶことができています。大学院では専門知識だけでなく、論理的に考える力や課題を発見・解決する力も養われ、日々の業務にも大いに役立っています。社会人になってから学び直すことには勇気が必要ですが、大学院での経験は確実に自分自身の成長につながります。興味のある分野や解決したい課題がある方は、ぜひ挑戦していただきたいと思います。

student Voice

薬学研究科 応用医療薬学分野

公立豊岡病院組合立豊岡病院 勤務



今井 清隆さん
2024年度入学者

現在のお仕事内容は？

集中治療病棟の専従としてICUで業務をしています。毎朝の回診参加、病棟定数薬の補充、医師へ薬物療法の提案、看護師へ薬物治療・医薬品管理等に関する情報提供、薬剤管理指導など多岐に渡ります。他職種の勉強会にも参加し、自身が抗菌薬の適正使用に関して講師を務めることもあります。集中治療領域における薬物療法では、薬剤選択が生命に直結することも少なくありません。日々緊張感がありますがとてもやりがいを感じています。

本学大学院進学のかっかけは？

病院薬剤師として勤務する中で、アイデンティティの確立とプレゼンスの向上への思いが強まり、臨床研究を通しこれらを実現したいと考えました。私の指導薬剤師は、病院薬剤師の経験が豊富でこの先生の元で自信を高めたい気持ちが芽生えました。しかし、当院は兵庫県の最北部であり、最寄りの大学院までの頻繁な通学は困難で進学を躊躇していました。ところが、新型コロナウイルスにより兵庫医科大学大学院がいち早くオンラインを導入したことで、私のような地方在勤者でも大学院進学が現実的な選択肢となりました。

大学院での学びを活かして どのような将来像を描いていますか？

大学院での研究活動を通して、まずは自身や後輩達が病院内での存在意義を高められる活動が出来ればと考えています。その先は、学生への教育にも興味があるため、病院薬剤師への教育にも興味があるため、病院薬剤師のやりがい、魅力を沢山伝えていけるよう、薬学教育にも携われればと考えています。

大学院ではどのようなことを 学んでいますか？

1年次は、医薬品の副作用データベースを用いて抗菌薬の血液凝固障害に関する発現について研究しました。2年次以降は、現在自身が担当しているICUにおける薬物療法への質向上に関する薬剤師の寄与効果などについて研究したいと考えています。

大学院での学びで、お仕事を役に立つ内容 (知識、スキルなど)はありますか？

日々の業務の中でも論理的に、かつ系統立てて考えることが出来るようになったと感じています。論文の解釈についても理解を深められたことで、論文の研究結果に対して批判的に吟味し、客観的に評価するスキルが身についてきたと実感します。

~ WEEKLY SCHEDULE ~

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24 時
月曜日																	家事・育児	自宅学習	
火曜日																	家事・育児	自宅学習	
水曜日																	家事・育児	自宅学習	
木曜日																	家事・育児	自宅学習	
金曜日																	家事・育児	自宅学習	
土曜日																	家事・育児		
日曜日																	自宅学習・研究		

学ぶ時間を確保するために 工夫していることはありますか？

土日通学が多いですが、当院では土日に日直業務があるため、その代休を利用したり、有給休暇を取得して通学しています。勤務の都合で通学が困難な場合には、指導教員の先生にオンラインで対応していただくこともあります。家事や育児との両立を図る上で、土（日）曜日に通学した場合は、日（土）曜日はなるべく家事、育児をするようにしています。職場の方にも大学院への進学について理解をしていただいており、多くのサポートをしていただいています。

